



2021年6月16日
ロイヤル・カリビアン・インターナショナル
日本総代理店 株式会社ミキ・ツーリスト
クルーズカンパニー
cruise-marketing.jp@group-miki.com

ロイヤル・カリビアン新客船クラス、アイコンクラスの建造開始

マイアミ、2021年6月16日ーロイヤル・カリビアン・インターナショナルの新クラス客船アイコンクラスの建設が始まりました。フィンランドのマイヤー・トゥルク造船所で建造が開始され、ロイヤル・カリビアン・グループのCEO リチャード・フェイン会長、ロイヤル・カリビアン・インターナショナルのマイケル・ベイリーCEO 兼社長やマイヤー・トゥルク造船所のティム・メイヤーCEO が出席の式典で、アイコン・オブ・ザ・シーズの船名が発表されました。

ロイヤル・カリビアン社は次世代のクリーン・エネルギーを担うリーダーとして、最初のステップとなる革新的な船を設計しました。2023 年秋に就航予定のアイコン・オブ・ザ・シーズは初の LNG(液化天然ガス)エンジン搭載で、アイコンクラス 3 隻のうち最初の客船になります。LNG エンジンと環境にやさしい設備の追加(たとえば岸壁と電力接岸など)はエネルギー効率をあげ、二酸化炭素の排出量を減らします。アイコンクラスの最新技術については順次発表いたします。

ロイヤル・カリビアン・インターナショナルの CEO 兼社長マイケル・ベイリーは「2016 年にアイコンクラスの建造計画を発表した際に海を汚すことないエネルギーの利用を確約しました。いよいよ、かつてない船の建造が始まったことをうれしく思います。そして数十年にわたる私たちの海洋保護、エネルギー効率化や絶え間ない改善は、アイコンクラスの建造を通してご理解いただけるでしょう。詳細が明らかになりその画期的な特徴をご案内できる日を楽しみにしています」と述べました。

ロイヤル・カリビアン社は船体が動く際の摩擦を減らすため何十億もの泡が発生させる空気円滑システムや船の運航を助ける 3 メガワットを超える余分な熱エネルギーを再利用する最新技術など、長年にわたりエネルギーの効率化と排出を最小限に抑えるよう努めてまいりました。LNG を含むこのような最新技術は酸化窒素の発生を十分に減らし、二酸化硫黄粒子を実質ゼロにします。

ロイヤル・カリビアン・インターナショナルについて

ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは数々の賞に輝く国際クルーズブランドで、50 年間に渡り革新を重ね、洋上では見られなかった業界初の試みをつねに導入し続けています。船上ではブロー

ドウェイスไตล์のエンターテイメントや斬新な施設を備え、ご家族連れをはじめ冒険心旺盛なお客様にお楽しみいただける多種多様なプログラムをご提供します。当社は世界で最も革新的なクルーズ船 25 隻を運航しており、バミューダ、カリブ海、ヨーロッパ、カナダ、米国、アラスカ、ニューイングランド、南アメリカ、アジア、オーストラリア、ニュージーランドといった全世界の人気のデスティネーションへお客様をご案内いたします。また「ゴールド・アンカー・サービス」というサービス基準を設け、全スタッフが最高のおもてなしでお出迎えいたします。ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは Travel Weekly Readers Choice Awards で 18 年連続「Best Cruise Line Overall（クルーズライン総合第 1 位）」に選ばれています。